

日本海洋学会幹事会 7月10日

日本海洋学会 2017年度第2回幹事会議事録

日時：2017年7月10日（月）13：30～18：20

場所：東京大学 本郷キャンパス理学部1号館807号室

出席者：日比谷会長、神田副会長、安藤、伊藤、市川、岡、小埜、川合、斎藤、東塚、安田、安中、山田、事務局（毎日学術フォーラム：小野）

## 議題

### 1. 議事録（案）承認（山田幹事）

第1回幹事会、春季評議員会、通常総会（学会HPに掲載後微修正したもの）の議事録（案）について確認し、承認された。通常総会資料については、既に学会HPに掲載しているものと差し替えることとなった。

### 2. 審議事項

#### （1）入退会について（東塚幹事）

2017年4月～5月の退会者（14名）と入会者（19名）を承認した。2017年5月末の会員数は、1,598名。

#### （2）会費3年未納者について（東塚幹事）

会費3年未納者について確認が行われ、主に庶務幹事より再度連絡し、支払い（人によっては継続）を促すこととなった。

#### （3）シンポジウムの後援・協賛等について（東塚幹事）

後援・協賛等について12件の依頼があり、承認された。

#### （4）募集・推薦等の依頼について（東塚幹事）

公募・推薦について9件、シンポジウム・講演等について3件、その他4件の依頼があり、学会メーリングリストにて配信した旨、報告があった。

#### （5）名誉会員の推薦について（東塚幹事）

2018年4月1日に70歳以上となる会員の中から山形俊男会員を名誉会員に推薦する案を評議員会に提案することとなった。

#### （6）JOS ニュースレターの編集委員について（安藤編集委員長）

編集委員に化学分野の担当者が不足していることから、張勁会員を追加することが提案され、承認された。

### 3. 報告事項

#### （1）会長

JpGU-AGU 2017 Joint Meeting に関して、日本海洋学会関連で515件の発表、日本海洋学会共催のセッションが26件あったこと、5月22日の通常総会において提案した「来年度以降も春季大会をJpGUに合流させて開催する方針」が承認された件、この件に関するメッセージを5月29日に学会MLへ投稿した件について報告があった。

ロードマップ2017への掲載を目指して作成していた大規模研究計画について、不採択と

日本海洋学会幹事会 7月10日

なった旨の報告がなされた。

評議員会のメール審議により、学会賞・岡田賞・宇田賞受賞候補者選考委員会の追加委員（海洋化学関連）として小池勲夫会員が承認されたこと、ブレイクスルー研究会の新会長として田村岳史会員が承認されたことが報告された。

平成30年度の科学技術分野の文部科学大臣表彰の推薦者1名に関して推薦作業を開始する件、第10回海洋立国推進功労者表彰の推薦を実施した件について報告された。

8月1日発行予定のJOSニューズレターへ鳥羽良明名誉会員がJpGUのフェローに選出された件および会長2期目の抱負を投稿した旨の報告がなされた。

## (2) 庶務（東塚幹事）

JpGU-AGU 2017 Joint Meeting に関するアンケート結果について報告があった。近期中に会員にも報告し、質疑・要望に関しては幹事会から回答を行う予定であること、JOSニューズレターNo.3に掲載する予定であることが示された。秋季大会において、秋季大会に関してのみではなく、春季大会に関するアンケートも取ることとなった。

## (3) 研究発表（山田幹事）

秋季大会の準備状況について報告があった。春季大会の準備について検討を開始すべきとの意見があった。

## (4) 編集

### 1) JO（日比谷会長（石坂編集委員長代理））

①JOの発行状況（Vol.71（5）～Vol.73（4））、②JO投稿・受理状況、③特別セクション号の論文編集作業について、④2011年度から2017年度の受理状況について、⑤転載申請について、⑥2016年のJournal of Oceanographyのインパクトファクター（1.347に上昇）について、⑦その他（二重投稿、剽窃、Journal of Oceanographyというペルシャ語の雑誌）について報告があった。

### 2) 海の研究（市川編集委員長）

①海の研究の発行状況、②海の研究の準備状況、③その他（J-STAGEでの登載採択、NIIより第25巻2号までの電子データファイルの受領、検討中事項（投稿規定・編集手続きの一部修正・掲載論文ガイド）について報告があった。

### 3) JOSニューズレター（安藤編集委員長）

①JOSニューズレター発行状況、②JOSニューズレター発行準備状況、③その他今後の方針について報告があった。

## (5) 広報委員会（小埜幹事）

秋季大会において広報委員会が企画するシンポジウム「海洋学を活かした進路について」において、「博士号を取得後民間に就職した、現在育児中の女性」に講演を依頼する際の旅費等について、講演者が会員となったため、別途の出費が不要となった旨が報告された。

## (6) 教育問題研究会（伊藤幹事）

日本海洋学会幹事会 7月10日

女子中高生夏の学校 2017、2017年度東京都教職員研修、国際地学オリンピック研修、第6回 COSIA、サイエンスアゴラ 2017 についての報告があった。

第5回東京大学 海洋教育フォーラムへの市川洋会員の派遣がメール審議において承諾されたことが報告された。

(7) ブレークスルー研究会 (岡幹事)

会長が渡邊豊会員から田村岳史会員へ交代することが、評議員会のメール審議において承認されたことが報告された。

(8) 海洋生物学研究会 (齊藤幹事)

来年度の研究会について、水産学会および水産海洋学会と連携し、日程を検討中であるとの報告がなされた。

(9) 日本地球惑星科学連合 (川合幹事)

2018年大会に関し、9月1日よりセッション提案の募集が始まる件、JOS ニュースレターに大会告知を掲載予定である件について報告された。海洋学会としてのセッション提案の検討に関しては、8月中旬までには幹事会へ相談予定であることが示された。

8月に次期代議員選挙の公示があり、8月下旬～9月上旬くらいに立候補が締め切られ、選挙が10月に開催される旨、報告があった。

**JpGU-AGU 2017 Joint Meeting** 会期中に大気水圏科学セクションのミーティングを実施し、セクション予算、旅費援助、若手や高校生の懸賞の審査員等の課題に関して検討を実施したことが報告された。

学会選出のプログラム委員には、川合幹事と東塚幹事を推薦することとなった。

(10) 日本科学振興財団 (神田副会長・日比谷会長)

むつ研究所を有効活用するために東大の海洋アライアンスと連携できないかとの話があった旨、報告された。

(11) 震災対応 (小笠幹事)

8月にホームページの記事を更新予定であるとの報告があった。

(12) 水産・海洋科学研究連絡協議会 (伊藤幹事)

議長・副議長・幹事の選出について、日本学術会議主催公開シンポジウムの開催について、大型研究計画について、その他(法人化)について報告がなされた。

(13) 若手支援 (神田副会長)

今年度の若手集会助成の申請に際し、助成対象若手集会の過去3年分の予算使用状況について報告書を整理・確認した件に関して報告があった。これを踏まえ、今年度申請があった2件に関し、各15万円ずつの助成とすることとした旨、報告があった。

秋季大会にて、執行部・幹事会が主催する若手会員との懇談会を実施する方向で調整し

日本海洋学会幹事会 7月10日

ていることが報告され、10月15日の懇親会前を第一希望、10月15日または16日の昼休み前を第二希望として大会実行委員会事務局長と相談することとなった。

海洋大の吉田次郎会員より、「賛助会員より、秋季大会の際にリクルートブースを作りたいとの相談があった」旨の情報をいただいたことが報告された。この件に関しても大会実行委員会事務局長と協議することとなった。

(14) その他

・「一家に1枚」ポスター企画WG（伊藤幹事）

企画案を作成し、一次審査を通過し、二次審査用資料を提出予定であることが報告された。今後、科学館等において来館者投票が実施され、選定された上位4件について外部有識者の委員会へプレゼン予定であることが報告された。

・会員数の動向と今後の予測について（岡幹事）

過去10年間の会員数動向のまとめと今後の予測を行った結果の報告があり、議論を行った。

・次回の幹事会について（東塚幹事）

緊急案件はメール審議か臨時会議の開催で対応することとし、次回は秋季大会会期中の開催となった。

以上

次回幹事会

日時：2017年10月13日（金） 18:00～20:00

場所：未定（秋季大会会場）